

報道関係者各位

ご案内

当事者の現状を、国政に届けるために活動します！
**『仕事と治療の両立についてのアンケート』と
『不妊患者の経済的負担等の軽減を目指すための署名』を実施中！**

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network=ファイン) <http://j-fine.jp/>

不妊患者をはじめ不妊で悩む方をサポートする、不妊体験者によるセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine (ファイン)」は、不妊治療環境向上のためにさまざまな活動を行なっています。多くの方々那不妊治療及び不妊について関心を持っていただけるように、ぜひ、貴媒体にて取り上げていただければ幸いです。

◆当事者による全国規模のアンケート調査を実施

Fine では、本年 5 月から「仕事と治療の両立についてのアンケート」を実施中です。このアンケート調査により、今まであまり明らかにされなかった、不妊当事者の仕事と治療の両立についての現状と要望を把握したいと考えています。アンケート結果から当事者の声をまとめ、Fine で実施している署名とともに、厚生労働省へ要望書を提出する予定です。またアンケート結果は、プレスリリースや学会発表等にも使用していきます。

■アンケート URL (アンケート締切：2014 年 12 月末 (予定) *プレゼント応募締切：2014 年 8 月末日)

URL (PC・スマートフォン) ⇒ <https://j-fine.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi?id=shigoto>

URL (携帯) ⇒ <https://j-fine.jp/cgi-bin/mail/imap.cgi?id=shigoto>

※前回実施のアンケートの参考ウェブサイト ⇒ <http://j-fine.jp/activity/enquate/keizai-anke2.html>

■設問の一部

Q：仕事と不妊治療の両立が難しいと感じたことはありますか？ またその理由は？

Q：職場で不妊治療をしていることを周囲に話していますか？

Q：職場に不妊治療をサポートする制度等がありますか？ どのようなサポートがほしいと思いますか？

◆全国で署名活動を実施中！ ※「今回の署名」について URL：<http://j-fine.jp/activity/act/shomei.html>

2007 年からこれまでに、不妊治療の経済的負担の軽減を目的に 6 回の全国的な署名活動と国会請願を実施。4 回目の国会請願では衆議院で採択され内閣送付されました。7 回目となる今回は、署名項目を新たにし、国会請願はせず、直接厚生労働省へ要望書と併に当事者の声を届ける予定です。項目は以下の内容を挙げています。

1. 特定不妊治療費助成事業より給付される助成金の更なる増額と制度(条件等)の見直し
2. 不妊治療についての社会的な理解と環境整備

夫婦の 3 割が不妊を心配したことがあり、6 組に 1 組が不妊の検査や治療を受けたことがある(または受けている)といわれています(※)。不妊治療の体外受精など高額な治療の大部分は、健康保険の適用されない「自費診療」で行なわれており、患者の大きな経済的負担となっています。「特定不妊治療費助成事業」は、多くの患者の助けになる一方で、まだ金額等が不十分のため、経済的理由から通院を先延ばしにして、その間に歳を重ね妊娠を難しくしている場合もあるなど、さらなる見直しが望まれています。また、不妊(治療)については、まだまだ正しく理解されていないがゆえに特別視されることも多く、周囲に治療をしていることを話しにくいという現状があります。仕事をしながら治療をしている場合、月経周期に合わせての頻繁な通院や体の状態によって直前に決まる受診日のため、仕事の調整が難しく、周囲に打ち明けづらいことも重なって、仕事との両立が困難になる人もいます。

Fine ではこうした現状を踏まえながら、今後も当事者の立場から活動を続けてまいります。

※ 国立社会保障・人口問題研究所「第 14 回出生動向基本調査」「結婚と出産に関する全国調査 夫婦調査の結果概要」

URL：<http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou14/doukou14.asp>

■特定不妊治療費助成事業の年齢による制限、助成回数変更

2004年度からスタートした「特定不妊治療費助成事業」は多くの患者の助けになる一方で、2013年度からは一部減額、2014年度からは順次年齢による制限、助成回数が減らされることが決定しました。

Fine では、2013年度の減額に関する要望書を厚生労働省に提出しています。また、まだ許可されていない新薬や治療方法などの要望書もこれまでに提出し、一部は承認され実現にいたっています。

<参考資料>

- ・厚生労働省 制度改正 (2014年度から) について URL : <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000039733.html> (動画あり)
- ・「特定不妊治療助成事業」減額に関する要望書 (NPO 法人 Fine) : <http://j-fine.jp/activity/act/yobo-joseikin1304.pdf>
- ・「要望書」について : <http://j-fine.jp/activity/act/index.html>

□NPO 法人 Fine これからの活動予定 (2014年7月26日現在)

◆『Fine 祭り 2014 全国おしゃべり会 special』を開催予定 <http://j-fine.jp/matsuri/2014/matsuri.html>

11/9 札幌、名古屋 11/16 大阪、福岡 12/7 東京

◆その他、各種講演会、学会にて多数発表予定

□NPO 法人 Fine これまでの活動 (抜粋)

◎日本初! eラーニングによる「不妊ピア・カウンセラー養成講座」開講中!

日本で初めて、不妊に特化した不妊ピア・カウンセラーを養成。2005年より10期連続で開講。

2012年より「eラーニング」形式に変更し、全国どこでも受講が可能に。

※参考 : <http://j-fine.jp/e-pia/index.html> 「Fine 認定ピア・カウンセラー紹介」 <http://j-fine.jp/peer/>

◎『Fine 祭り』を2013年まで6年度連続で開催 ※今年は秋に全国5カ所で開催予定!!※

来場者数は、2008年度 約500名、2009年度 約550名、2010年度 約150名、2011年度 約600名、2012年度 約400名、2013年度 約450名。大きなホールでの講演会や全国各地でのおしゃべり会など、毎年、趣向を変えて開催。

※参考 : http://j-fine.jp/activity/event/fine_matsuri.html

◎不妊に関するさまざまな調査を実施

2010年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」を実施 (回答者数/1,111名)

2012年「どうする? 教えて! 病院選びのポイントアンケート」を実施 (回答者数/560名)

2012年~2013年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート Part2」を実施 (回答者数/1,993名)

結果はFine ウェブサイト、学会や講演会等で発表。他にもさまざまなアンケートを実施しています。

※参考 : <http://j-fine.jp/activity/enquate/index.html>

◎学会・研究会への参加・発表

2009年 ESHRE (欧州生殖医学会) 患者部門にてゲストスピーカーとして発表 (オランダ・アムステルダム)

2012年 「第11回 iCSI (国際不妊患者団体連合) 会議」を共催 (京都)

2012年 「第4回 ASPIRE (アジア太平洋生殖医学会) 会議」にて iCSI セッションを共催 (大阪)

2013年 厚生労働省「不妊に悩む方への特定治療支援事業等のあり方に関する検討会」審査員 など

◎媒体関係 (取材協力など)

朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、産経新聞、東京新聞、北海道新聞、信濃毎日新聞、中日新聞、京都新聞、西日本新聞、熊本日日新聞、共同通信社、時事通信社他、NHK「クローズアップ現代」「首都圏ネットワーク」「あさイチ」、フジテレビ「とくダネ!」「スピーク」、日本テレビ「今日の出来事」、日本テレビG+「医療ルネッサンス」、TBSテレビ「はなまるマーケット」「いっぷく!」他、『週刊朝日』『AERA』『AERA with BABY』『赤ちゃんが欲しい』『文藝春秋』『Domani』『婦人公論』『週刊現代』『週刊文春』『GLOW』『VERY』『WEDGE』『妊活プレモ』他多数。

◎その他 JISART 施設の認定審査に患者代表審査員として参加 (2005年~現在)

~Fine 会員は約1,550名、さらに SNS も開設! 登録者約1,450名 (2014年7月現在) ~

NPO 法人 Fine (ファイン) <http://j-fine.jp/>
〒135-0042 東京都江東区木場 6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606
* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです
~当りリリースについてのお問い合わせ~
E-mail ◆NPO 法人 Fine 広報窓口 : finekouhou@j-fine.jp